

桐生地域医療組合 桐生厚生総合病院

入院中から在宅まで 幅広く栄養をサポート

～カップタイプ流動食の有用性～

桐生地域医療組合 桐生厚生総合病院では、約10年におよぶ本格的なNST活動を続けており、多職種による“チーム医療”で患者さんの栄養をサポートしています。

NST活動において、特にエネルギー摂取量が少ない患者さん、あるいは食事がうまく摂れない患者さんへの対応として、飲みやすく、味のよいカップタイプ流動食を活用しています。

さらに、在宅でも身近で購入しやすいという特長を生かし、入院中のみならず、在宅・外来患者さんの栄養管理においても幅広く利用しています。

病院のある群馬県桐生市は、全国的に見ても高齢化率が高く、食事・栄養管理における病院・在宅を繋ぐ地域連携の今後のモデルケースになり得る興味深いお話を伺いました。

桐生地域医療組合 桐生厚生総合病院

内科診療部長 飯田智広先生

皮膚科診療部長 岡田克之先生

食養科長 村岡頼子管理栄養士



桐生地域医療組合 桐生厚生総合病院 NSTの皆さん

① 食事がうまく摂れない、 栄養摂取不足の患者さんへの対応

当院の栄養管理においては、NST栄養士が病棟で、看護師と連携し栄養状態に問題のある患者さんを常にチェックしています。まずは口から食事で栄養を補給することを大前提としているので、食事が思うように摂れていない患者さんや食事摂取量が少ない患者さんは、注意深くケアしています。患者さんが食べない原因には嗜好、食形態、食事環境等の問題もあるので、NSTで関わり、患者さんの嗜好や食べやすい献立の工夫、あるいは食べる環境、摂食嚥下機能等の問題の解決を試みます。そうした様々な対策をとっても改善が得られない場合は、流動食などの栄養補助食品の活用といったことが次の手段となります。

② カップタイプの流動食に着目

流動食の利用においては、当院では、いくつかの種類を示してその中で患者さんあるいはご家族の方に選択していただくようにしています。いずれにしても、流動食などの栄養補助食品は食べやすさ、飲みやすさ、さらには味が良いことが非常に重要です。

在宅でも購入しやすいことが大きな決め手!

さらに、NSTでは、退院後の在宅も視野に入れた指導に力を入れており、現在積極的に利用しているのがプラスチック容器を用いた、カップタイプの流動食(明治メイバランスMiniカップ：以下カップタイプ流動食)です。本製品は、1本(125mL)200kcalの少量高エネルギータイプですが、味が良く飲みやすいことが特長であり、さらにドラッグストア等で販売されている為、在宅でも購入しやすいことが大きな長所と捉えています。

- 各疾患の説明パンフレットとともに
カップタイプ流動食の説明や
購入方法を紹介する
リーフレット等を備え、
患者さんの指導に活用。



栄養指導室の書棚

当院での使い方も様々!

術後の栄養摂取不足を補う 日常のサプリメントとして

一部の病棟では、術後の患者さんの食事には必ず1日1本付けています。

高齢患者さんの栄養サポートに

投与エネルギー量を補いたい場合に、カップタイプ流動食を提供しています。

脳神経外科手術後のオリジナルメニューとして

脳外科手術後は多くのエネルギー量を必要とするため、経口摂取に移行してからの食事については、小容量で十分なエネルギー量を補うことができるカップタイプ流動食を提供しています。



病院

病院と在宅 「栄養補助食品」 利用で カップタイプ

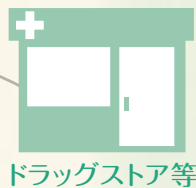


4

過
と
ブ
院

助
力
の
れ
て
入

在宅とを繋ぐ 「食品」として 利用できる カップ流動食



ドラッグストア等



在宅

1 自宅で飲んでいた理由は

当院に一度入院された胃がんの患者さんで、その後在宅で過ごされていた方が、がんの進行にともない食事摂取が不能となり、当院に再入院されました。この患者さんは自宅でカップタイプ流動食を利用されていたということで、再入院時の病食においてもスムーズに同じ製品をご利用いただけました。実は、この患者さんは以前に入院されていたときは、栄養補助食品を利用していなかったのですが、退院時の栄養指導で、カップタイプ流動食を紹介し、思うように食事が摂れない場合の利用を勧めていました。そのため、ご自宅で食事が徐々に摂れなくなった頃から、ご家族がドラッグストアで購入し利用されていたということ。病院で使用している製品がご自宅で購入できることは、ご家族の安心にも繋がると思います。

ICUでも

カップタイプ流動食は少量高エネルギータイプで、容器の蓋も開けやすくシリンジ吸引も容易なことから、経管投与における補助栄養としても使い勝手は良好です。ICUでの胃瘻造設患者さんの例ですが、体重減少が著しかったため、カップタイプ流動食を1日1本シリンジにて投与し、200kcal/日をプラスしました。

5 カップタイプ流動食が 病院と在宅を繋ぐ栄養管理の架け橋に

本製品はいち早くドラッグストアでの販売が確立されており、患者さんがご自宅においても身近に購入できることは、病院と在宅を繋ぐ栄養管理の架け橋になるものとして高く評価できます。例えば、当院入院前に患者さんがすでにご自宅で利用されているというケースも多くなりました。病院でもご家庭でも利用しやすいということは、入退院があっても継続的な利用が可能です。私共が入院時から在宅まで一貫した栄養指導を行ううえでも非常に力になっていると思います。

- 栄養指導時には…→
- カップタイプ流動食の内容やメリット、ドラッグストアで購入可能なことを説明。
 - 院内から在宅まで幅広く利用できること等を説明。
 - 患者さんに十分納得した上で選択してもらっている。



栄養指導の様子

6 ドラッグストアより 下記のようなお声が届いています

- 病院で使用されていた方が、退院時に病院から紹介されたと言って買いに来られます。病院とご自宅で同じものが飲めるというのは大変心強いことだと思います。
- 食欲が落ちて、栄養が摂れるものが欲しくて、買いにこられる方がいらっしゃいます。病院で紹介してくれるおかげで、「メイバランス」を指名して買いに来るお客様もいらっしゃいます。

(ドラッグストア従業員様に
明治営業担当者が伺いました)



リハビリ時に

リハビリテーション時こそエネルギーが必要だと思います。本製品は手軽に飲めることから、運動の合間におやつ感覚で飲んでいただくこともあります。

化学療法時に

退院後の外来での化学療法の際に、食欲がないときは、飲みやすいカップタイプ流動食の利用を勧める場合が多いです。

NSTメンバー等 20名に 伺いました!

医師……………1名
管理栄養士・栄養士……………8名
看護師……………7名
薬剤師……………2名
臨床検査技師……………1名
リハビリスタッフ……………1名

明治メイバランスMiniカップを ご評価いただいている点BEST5



第1位 ドラッグストア等で店頭購入ができる

第2位 味の種類が多い

第3位 栄養成分(1本あたりエネルギー 200kcal、
たんぱく質7.5g、食物繊維2.5g等)

第4位 カップ容器のため、持ちやすい

第5位 容器を強く握っても中身が飛び出しにくい

紙パックの経口用流動食と 比較した場合の利点は?



- カップ容器のため、持ちやすい
- 容器を強く握っても中身が飛び出しにくい
- ストローが太く、蛇腹付きのため飲みやすい

ご意見・ご感想

- どの味も美味しく飲めるようになった
(コーンスープ味が人気)
- 容器が持ちやすく飲みやすい
- 喫食量が増えたように感じる
- 味の種類が多いので、患者さんに好きな味を
選んでもらえる

桐生地域医療組合 桐生厚生総合病院NSTについて

当院のNSTは10年あまりの歴史があり、活発な活動に努めてきました。現在は患者さんの増加にともない、病棟別にチームを分け、外科中心、内科中心、およびその他(皮膚科、耳鼻いんこう科、泌尿器科、整形外科等)を対象としたチームの3つのチーム活動が行われています。チームには、医師・看護師・栄養士・薬剤師・臨床検査技師・ST・PT・OTとほとんどの職種が関わっています。さらにMSW・事務部門等も加わって病院全体が一丸となってNST活動を推進しています。

NSTにおいては、栄養アセスメントをしっかり行い、栄養ケア計画を立案し、その内容は主治医に対してNST報告書というかたちで提言や情報提供を行うというシステムが構築されています。NST回診はチーム単位で週1回行い、3つのチームを統括して月1回のNST委員会と月2回のランチタイムミーティングが開催され、症例検討会や勉強会等を行っています。

● 個々の患者さんに合わせた栄養サポートが大切

摂食嚥下障害のある患者さんには液体による誤嚥に注意しなくてはなりません。栄養補助食品については嚥下の状態を見



ながら、個々の患者さんに合わせた形状を考慮すべきであり、カップタイプ流動食をはじめとした液体だけでなくゼリータイプも選択肢の1つにしています。

● 栄養補給の重要性を多くの患者さんに

今後は、地域連携を強化し潜在的な低栄養患者さんをいかに見出して救うかが当院NSTの重要な使命の一つと考えています。病院としても栄養補助食品のより良い利用方法を含め、栄養補給の重要性を多くの患者さんに啓発していく必要があると感じております。

■ 編集・発行

株式会社ジェフコーポレーション

〒105-0012 東京都港区芝大門1-16-3 芝大門116ビル 3F
TEL: 03-3578-0303 WEB: <http://www.jeff.jp>